

## PG07-2 地域共生社会に向けて

－その第一歩として相談支援専門員が具体的に行えることは

〈コーディネーター〉 沖縄大学 人文学部 福祉文化学科  
教授 島村 聡

〈パネリスト〉 沖縄県障害者等相談支援体制整備事業  
中部圏域アドバイザー 津波古 悟

株式会社 RETICE 相談支援事業所 Reve  
統括 東 美奈子

社会福祉法人あむ 南9条通サポートセンター  
所長 大久保 薫

※本資料はパネリストの資料です。

# 令和2年度相談支援従事者指導者養成研修 《実践報告》

## 地域共生社会に向けて

～その第一歩として相談支援専門員が具体的に行える事とは～

沖縄県障害者等相談支援体制整備事業  
中部圏域アドバイザー 津波古 悟

### 実践事例1

#### 《プロフィール》

Aさん 当時17歳（知的障害 A2） 特別支援学校3年生

温厚な性格で、いつもニコニコしていて、他者から可愛がられるタイプ。

自ら言葉を発することはないが、相手が発する簡単な単語であれば、何とか理解している様子・・・？（ADL・・・全面及び半介助）

### 《家族構成》

父(50歳)と本人の二人暮らし

### 《経済面及び生活環境》

- 父親はアルバイト的な仕事(建設関係)をしていて、その収入は安定していない。
- また、父親の養育能力は乏しく、家事全般(食事、洗濯、掃除)は全くできない。
- 特に食事面については、ほぼ毎日が近隣のスーパーで買ってきたお弁当や惣菜、菓子パン等でまかない、その食べ終わったあとの弁当箱やお菓子の空き箱、買い物袋類が部屋いっぱい散乱し、不衛生な状況になっている。

### 《父親とご本人の関係》

父親と本人との関係は良好で、ご本人の事をとても可愛がっている。

ご本人もまた、お父さんの事が大好きである。

### 《利用している福祉サービス》

- 特になし・平成15年度支援費制度施行当初、現在のように福祉サービスは充実していなかった。

### 《気になる事(生活上の課題)》

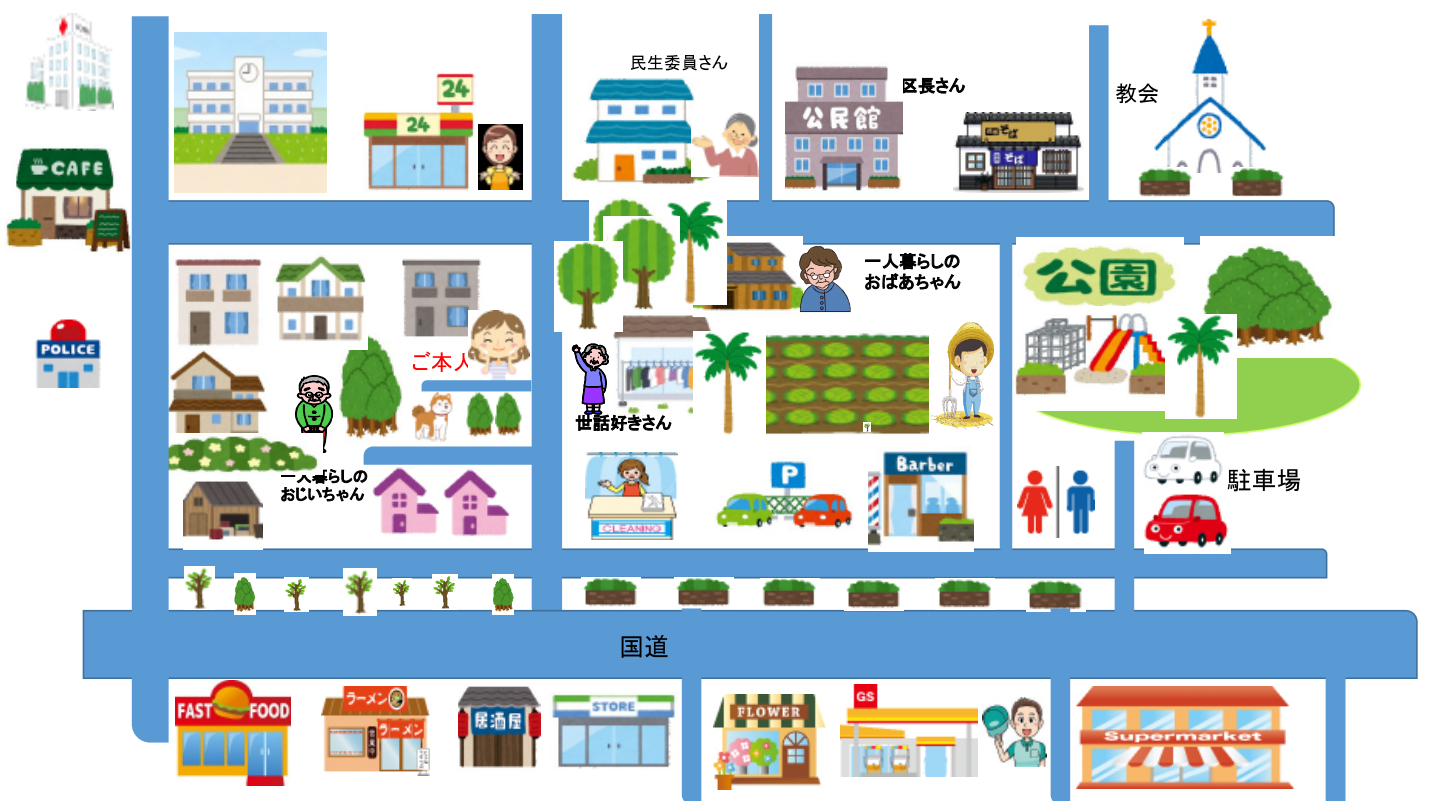
- 特に土日・時々父親が深酒し、昼過ぎまで寝入った時、本人が無断で家を抜け出し、その行方がわからなくなる。その度に警察や相談員(療育等支援事業コーディネーター)、行政を巻き込んでの大捜索となる。

幸いこれまでは何事もなく自宅から約2~3キロ離れた付近の路上で、無事に保護されている状況。

(エスケープは年1回~2回、発生している)

# 本児の住んでいる地域の様子

- ◎地域のつながりは強い
- ◎良い噂も悪い噂も直ぐに広がる
- ◎おじいちゃん、おばあちゃんが多い  
(人はみな優しい)





## 《対策》

行政から父親へ施設入所の提案がなされたが、父親はそれを拒否！・・ご本人もまた、2泊3日の短期入所の体験を通して、施設入所を拒む行動(短期入所の期間中、不穏と不眠状態が続く)が見られた為、その支援は断念し、親子が地域で安心して暮らしていけるような対策を講じ、その支援を進めることになる。

### **対策① ヘルパーの養成・・当時は介護保険のヘルパーが主流**

障害者の対応は「怖い・難しい」との印象が強く、電話の依頼のみではその受け入れ事業所を見つけることは困難であった。

そこで直接4～5か所の事業所へ出向き、管理者や提供責任者にお会いし、本児の特性について丁寧に説明・・少しでもその「怖い」というイメージが払拭できるようにした。また、管理者より、現場に入るのはヘルパーさんなので、その現場のヘルパーさん向けの勉強会をしてほしい旨の依頼があり、講義と演習を数回に分けて実施した。

その勉強会を通して、興味を示したヘルパーさんと連携し、家事援助と入浴支援を開始する・・始めのうちはやはり「不安」ということで、相談員(療育等支援事業コーディネーター)が同行し、その支援を進めることになる・・しかし2～3回、同行すると、そのヘルパーさんから「Aさんの仕草や行動がとても可愛い」との声が聞かれ「怖い」というイメージは徐々に払拭されていった。

### **対策② 地域(住民の密着度)の状況を知る**

ご本人と一緒に自宅から500M四方を散策！

ご本人はかなりの有名人！・・直ぐに地域のクリーニング屋さん、商店のおばさん、床屋さん、お散歩中に出会う「オーバー」が声をかけてくれる。

「あい！今日は兄さんと散歩だね～！良かったね～！」等々

声をかけてくれた方々にご本人の事を知っているのか・・尋ねてみると良く知っているとのこと(本人に対する印象を尋ねてみた)

「本人に声をかけてもいつも笑っているさ～・・言葉わからんのかね～なんでかね～」

「ただ時々、下着姿で歩いている時もあったから少し怖かったさ～！」

「国道も近くにあるから事故も心配だね～」

「この子のお父さんもあまりユンタクしないから少し遠慮するさ～」等々

### 対応③ ご本人の状況をお話し、地域の方々の理解と協力を求める

先ず、声をかけてくれた方々に相談員(療育CO)の名刺をお渡ししながらご本人さんの特性(家を出ると一人でおうちに帰ることができない)について簡単に説明し、もし、ご本人を地域で見かけた際は、相談員(療育CO)までご連絡してほしい旨のお願いをする。そのお願いに対して地域の方々からは「見かけたら公民館に連れて行ってお菓子でもあげとくさ〜！」と話され、その依頼を快く引き受けてくれた。

勿論、地域の協力を得ることについては、父親の了解も頂いている。

父親曰く、娘が地域のお世話になるのであれば、年2~3回ある地域の大掃除に参加しないとイケないね〜とその父親の意識も変わってきた。

### 対策後、初めてのエスケープが発生・・・

家の近くに住んでいたおばさんが直ぐに本人を保護し、自宅まで連れてきてくれたとの報告が入る。その時、地域見守り隊が見事に発足されたことを実感した。

### ケースを通しての所見・・・

当初は警戒された有名人！

下着姿で歩いたり、独語を発したりするので、地域からはかなり警戒されていた・・・なのでいつも監視されている状況であった。

その監視をリフレーミング・・・結果、見守りへ変わっていった。

## 実践事例2

### 《プロフィール》

Yさん 当時35歳（知的障害 B2）

温厚な性格で、だれとでも気軽に話ができる。

力仕事は得意であるが細かな仕事は苦手。

ADLほぼ自立・ただ衣服をきがえたり、お風呂に入る習慣はなく、時々促しが必要である。

### 《家族構成》

当初、父親(60歳)と二人で暮らしていたが、その父親が脳梗塞を発症し長期入院したことで、やむなく一人暮らしを始めることになる。

父親は、息子が障害者(知的障害)であるという負い目からか、近隣との付き合いは浅く、地域の方々もその事を察し、ご本人の話題には一切、触れないようにしていたとのこと。

### 《経済面及び生活環境》

生活保護・障害年金を受給

県営高層住宅の1階に住んでいて、調理や洗濯は上手くできないが掃除や片付けは得意である。なので家の中はいつも綺麗に整理・整頓されている。

食事は、ほぼ毎日、カップ麺か菓子パン等であり、健康面が少し心配される。

また、着替えやお風呂に入るといった習慣はあまりなく、体臭が気になる場所である。

### 《父親とご本人の関係》

父親は怖い存在で、父親のいう事はなんでも素直に聞いていた。

父親の口癖で「自分が不快に思うことは他人にするな！」逆に「自分が楽しい・うれしいと思うことはやってあげなさい！」の教えを意識している。

### 《利用している福祉サービス》

時々、気が向いたら地域活動支援センターの活動に参加している。

## 《気になる事(生活上の課題)》

父親が長期入院して間もなく、近隣のゴミ集積所や公園のゴミ箱からアダルト本を物色し収集するようになる。収集したアダルト本はすべて自宅に持ちかえり保管するのだが、たまたま新品同然のその本を発見し、少し興奮気味になった際、自宅近くの住民(女性)に「これ見て・・・！上等見つけた！」と声をかけてしまった。

その事が後に大問題へと発展していく。

※高層住宅の住民(97世帯)から、「子供や女性が安心して暮らせない」との声があがり、市行政に対してその苦情や要望(施設入所)が多数寄せられた。

また、市議や県議にもその相談がなされており、その施設入所への圧力は益々強くなり、もはや犯罪者扱いとなっている。

## 《本人の思いの確認》

行政から本人さんへ施設入所の提案がなされたが、本人はそれを強く拒否！

「僕はどこにも行かない・・・ここで父親の帰りを待つ」の意思が明確に示された。示された本人の思いを尊重し、生活上の課題をひとつひとつ丁寧に確認しながらその支援を進めることになる。

# 本人の住んでいる地域の様子

◎高層住宅ではあるが人のつながりは比較的薄い

◎ゴミ出しや駐車に関すること、月1回の清掃活動への絶対参加などそのルールは厳しい

◎盆踊りや子供会のイベント(ビーチパーティー等)や挨拶運動がある



## 《地域支援の対策》

### 対策①住民の不安の声を聴く・・・その不安の声をしっかり受け止め共感する

先ず、区長さんと面談し、理解を求めるもその反応は厳しく、父親が退院できる状況になれば、施設へ入所させてほしい旨が示される。

#### 地域住民の声・・・

- (1)夜中にゴミ集積所を物色するので怖い！
- (2)いつも同じ服装で衣服が汚れているので不衛生！
- (3)敷地内の公園では大勢の子供達が遊んでいるので、その子供たちに危害を加えないか心配！

### 対策② ヘルパーさんを介入し、住民不安の軽減を図る。

ヘルパーさんをお願いすること・・・

- 軽運動・・・いっぱいおしゃべりしながら自宅周辺を散策する
- 着替えや入浴の声掛けをしてもらい、その意識を持たせるようにする。
- 女性のヘルパーさんが入ることにより安心感を与える
- 食生活を改善し、栄養バランスを整える。

しかし、ヘルパーさんが入る初日に・・・ハプニングが発生！

ご本人さん、ヘルパーさんの訪問日に合わせて、これまで集めてきたアダルト本(約100冊以上)を玄関口から台所にかけてすべて並べてしまう(レットカーペット風に)

その光景を見たヘルパーさんは直ちにその支援を中断し、翌日その管理者から契約解除の意向が示される。

### ご本人さんになぜそのような事をしたのか聞いてみると・・・

父親の口癖でもあった「自分が楽しい・うれしいと思うことはやってあげなさい！」の言葉を思い出し、ヘルパーさんにその自分の宝物(アダルト本)を見せてあげて喜んでもらいたかったとのこと。



ヘルパー事業所との再調整・・・

ヘルパーさんが不安に思う事を丁寧に聴き取りながらその不安解消に努めた。

当面は、相談員(地域療育等CO)が同行することで、その支援の継続を図り、支援を通して、ご本人さんの事を知ってもらうことにした。初めのうちは「怖い・不安」で始まった家事援助・・・ひと月も過ぎたころには、ご本人さんの優しさに触れ、その偏見は徐々に払拭されていきました。

今では、ヘルパーさんから「こんな雑誌を見るより私たちを見なさい！」のジョークが交わされるほどになっていきました。

### 対応③ 本人との約束・・・アダルト本は自分だけの宝物にすること！（性教育の実施）

約束 i 自分で見て楽しむのはOK！しかし、女性に見せるのは絶対にダメ・・・相手が不快に思うとそれは犯罪！

約束 ii 専用ボックス(カラーボックス)を購入し、すべてのアダルト本はそこに保管しましょう！

約束 iii ゴミ集積所からダルト本を物色する行為はやめて、月1回程度、その本を購入しに行きましょう！  
※その際は相談員が同行します・・・。

## 対応④ 地域の強み、本人の強みを確認する

### ◎地域の強み・・・

各月1回の清掃活動がある・夏に盆踊りのイベントがある・近くに公園がる・近くにコンビニがある・自治会長さんが民生委の経験もあり優しい・住民同士が繋がっている(挨拶運動がる)

### ◎本人の強み・・・

温厚な性格でだれとでも直ぐに仲良くなれる・力仕事が得意・片付けが上手・父親を尊敬している・笑顔が素敵・人から頼まれると断らない・困った人を見ると助けてあげる(とても優しい)・お話ができる・分かり易い内容であれば理解できる・素直な性格

## 対応⑤ 住民の皆様にご本人の特性をさりげなく理解してもらう

i 時々ヘルパーさんと公園に出かけてもらい楽しく過ごしてもらいます。

その際、ヘルパーさんは女性限定とします・・・女性に対応することで、地域の方々に安心感を与えます・・・男性に対応すると逆に 怖いというイメージを助長させてしまう恐れがあります。

ii 地域の清掃活動に参加し、ご本人の事をより知ってもらう(各月1回の活動)

まず、相談員(地域療育等支援事業CO)が同行し、地域の皆様と一緒に汗を流します。ご本人さんは力仕事が得意なので、その集められたゴミや廃材等を所定の場所まで何度も往復し運んでくれます。その際、自治会長さんから「頑張っているね！・・・ありがとう」と声をかけられ終始、満面の笑顔を見せていました。

(こうしたやり取りの中で見られる笑顔や仕草は、地域評価の最大のポイントになります。)

その後も会長さんや役員さんの協力を得ながら活動への参加が継続されました。この活動を通して、多くの皆さまと顔がつながり、コミュニケーションを交わす中で、根強くあったその偏見(危険人物)も少しずつ払拭されてきました。

概ね1年が過ぎた頃には清掃作業の手際も更によりよくなり、すっかりその地域の一員になっておりました。

iii 地域の信頼を得たことで、自治会長さんが知り合いの清掃業者へ紹介し、今では週4日のアルバイトスタッフとして採用されています。そこでも持ち前の愛嬌と頑張りで高い評価を得ているとのこと。



## ケースを通しての所見・・

ニーズ「問題行動減らす」→「受け入れてくれる施設を探す(排除)」



他者の意見、**問題、課題**ばかりが  
**フォーカス**されると！

ご本人を変えようと(否定)する  
**「ダメ出し」**プランが成立する！



再度ご本人やその環境の強みに着目し、**アセスメント**をといな  
おしてみると**リアルニーズ**が見えてくる・・！

**主語**を**僕**で事例概要を要約してみると、**本人主体**の希望の持  
てる**プラン(方向)**が見えてくる。

僕の得意なことは、ゴミ拾いと片付けと力仕事です。大好きなお父さん  
に言われたことを守って自分の楽しいこと(アダルト本を見ること)を地域  
の方に伝えたら嫌われて「大問題」になってしまいました。いつも笑顔で挨拶  
をしてくれた人からも無視をされて、とても辛く、不安でした。なので  
積極的に地域の清掃活動に参加し、得意な力仕事やお掃除を通して、こ  
れまでの悪いイメージを払拭したいです。また、もっと地域のみなさんのお  
役に立てるような仕事がしたいです。そして、いつか大好きなお父さんが  
元気になって帰ってくるので、おうちをいつもピカピカにしておきたいです。

# 地域で生きる・生きる

～きっかけ作りが私の仕事～

株式会社RETICE  
東美奈子

## 本事例を展開した地域の様子

人口 3,895人

(現在は広域合併により人口17万人の市)

高齢化率 40%

専門医療機関までは車で45分かかる

自然の豊かな山紫水明の地域

ゆったりとした時間が流れている

癒される地域

午前中の検診会場で出た噂話は午後には一番はずれの地域の人が

知っているような地域のつながりは強い地域

→仲間意識も強いが排除する意識も強い(▽)



**一人の当事者Aさんの  
「誰かと話がしたい」「さみしい」  
から始まった地域支援活動  
(家族からも地域からも孤立状態からの脱却)**

**視点→いかに地域の一員として  
暮らせるか**

## **家族関係の調整**

- **夫・姑・息子との関係調整**
  - 個別支援として実施
  - 関係性の再構築に1年・・・(2か月の関わりで姑が寄り添ってくれた)
    - 夫や姑と相談支援専門員の関係づくり
    - 「ありがとう」の連鎖
    - 「よかったこと話」のメッセージ

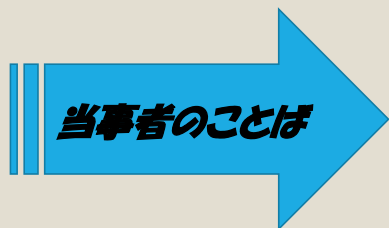
**視点→家族の中の孤立の解消は安定につながる**



# Aさんの想いを聴き支援を組み立てる



当事者と関係者だけの  
かかわりのなかで



《誰かと話を



# 誰かと話がしたい！！

- 相談支援事業所のサテライト的に  
「憩いの広場」をスタート  
県保健師・市支所保健師・社会福祉協議会・  
家族会・児童民生委員・相談支援事業所
- 参加者は、たったひとりのスタート
- 予算なし、何もなし
- 食生活改善推進員さんが  
ボランティアとして

視点→地域の人の協力を得ることで次のつながりへ



## ボランティアや 地域の協力者によって 当事者と地域のかかわりが始まる

当事者のことば

《地域と関わりたい！》

ボランティアの  
ことば

《〇〇さんが精神病って知っていたよ  
でも、どう声掛けしたらよいかわからなかった  
一緒に活動してもたら、普通でいいんだってわかった！  
今度は仲間を連れてきますね！》

# 地域とかがわりたい！！

## ● 地域の資源を活用

(高齢者生産活動センター・ついで)

## ● 関係者ととともにクリスマス会

## ● 地域とのかかわりが少なく、 経験していないことが多い



街の画家とのコラボ作品  
(地元の特産品を利用)  
今は市の建物に展示

山代和紙を使って  
作りました

高齢者生産活動センター  
ともコラボ



## 地域のために何かをしたい！！

スタート時は専門職がかかわったけどフェードアウト

### ● アロマキャンドルづくりグループ (ルピナス誕生)

上手くフェードアウトするのも技術相談にのれる状況は残して・・・

#### 当事者と地域住民主体のグループ

- 名前の意味は花言葉から
- ソープ・キャンドル・小物づくり

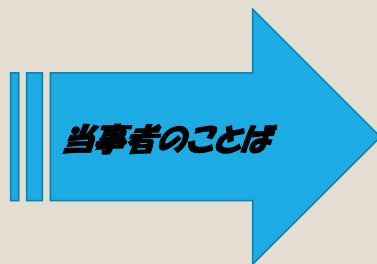
## ルピナス誕生

- みんなで名前をエントリーして決定→自分たちの主体的な活動
- 地域で場所が見つけれなかった→拠点が欲しい
- 少し離れた、廃校になった学校が作業場所→芸術村の一角
- 石鹸やキャンドルができあがった嬉しさ→喜んで使う人の笑顔
- 自信が表情や行動に変化をもたらす→「ありがとう」っていいな
- 自分たちが作ったものを使って欲しい
- みんなで決めるのがルール





## 当事者が企画し運営して、地域デビューする



《地域の一人として  
輝いていたい》

## 地域の一人として輝きたい 地域デビューする

- 「ふるさとまつり」でコーヒーとワッフルの販売
- 「ちひろコンサート」をひらく
- 日韓交流イベントで花束と手作りの石鹸を手渡す
- 他の地域で、小物作りの指導者として、  
地域デビュー（高齢者の人に感謝される体験）
- 加藤登紀子コンサートでコーヒー販売

人の人とのつながりで活動が広がる  
→徐々に支援者の手は離れていく…



# この活動に手を貸してくれた人たち

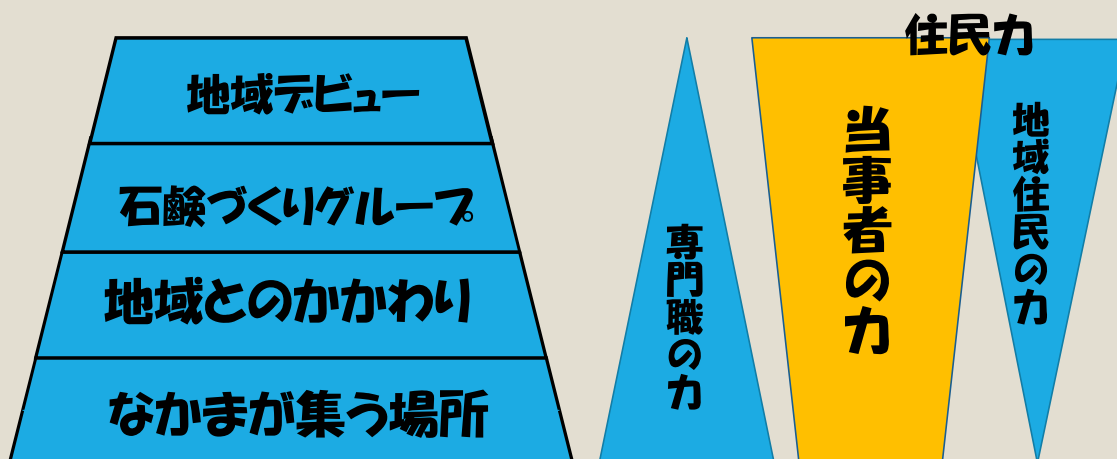
- 学校の先生
- 高齢者活動センター
- 地元の画家
- 児童民生委員
- 食生活推進委員
- 元小学校教諭
- 商店街の人々
- 医療・保健・福祉・行政関係者



当事者の想いに寄り添って  
広がっていった地域支援活動



## 地域支援活動の4つのステップ



## 当事者の力や地域の力を信じること

- 当事者が輝ける場面を見つける
- 地域には包容力がある
- 地域には住民同士のつながりがある
- 地域の特性を活かす
- 地域の人が社会資源
- 人と人のつながりでつながっていく
- 予算がなくても、何とかなる



**地域の中で“自分らしく”生きる**

**住みたい場所で**

**自分プロデュースの暮らしを実現**

**ご清聴ありがとうございました**



「地域」は、抽象的には存在しない。  
そこには、名前があり、年齢があり、それぞれの人生がある人たちが暮らしている。

# 地域とともに歩むための地域活動の展開

～専門機関であり、いち住民であるという生き方～



社会福祉法人あむ（北海道札幌市） 大久保 薫

## 社会福祉法人あむ

■南9条通サポートセンター 〒064-0809  
札幌市中央区南9条西13丁目1-40

●びーと(生活介護事業)  
TEL 011-520-1221  
FAX 011-520-1265

●ぼでい(居宅介護等事業)  
TEL 011-533-8655  
FAX 011-520-1265

■法人事務局  
TEL 011-206-6373  
FAX 011-206-6229

●にこぼ(児童発達支援事業・放課後等デイサービス)  
〒064-0806  
札幌市中央区南6条西11丁目1284-18  
OFFICE611 4階  
TEL/FAX 011-561-2271

●地域めくもりサポートセンター  
TEL 011-206-6511  
FAX 011-206-6229

●相談室にっこ  
(指定特定・一般・障害児相談支援事業)  
TEL 011-206-6215  
FAX 011-206-6229

●相談室ぼぼ(相談支援事業)  
〒064-0811  
札幌市中央区南11条西12丁目2-25  
ロイトン山崎 801号室  
TEL 011-522-4112  
FAX 011-562-6600

●にこぼ2(児童発達支援事業)  
TEL 011-513-6023  
FAX 011-206-6229

〒064-0805  
札幌市中央区南5条西14丁目1-3

●さっぽろ地域づくりネットワーク  
ワンオール  
(高齢相談支援センター)  
〒064-0808  
札幌市中央区南8条西2丁目5-74  
市民活動プラザ望園 302号室  
TEL 011-213-0171  
FAX 011-213-0172

●こまち(共同生活援助事業・短期入所事業)  
〒064-0811  
札幌市中央区南11条西21丁目4-1  
メゾン伏見 114号室  
TEL/FAX 011-205-0360

更新情報はこちら！

あむ

日々の出来ごとを更新中！  
ホームページ、ブログもご覧ください。



## ワンマイルネット事業



ワンマイル=1マイル=約1.6km。犬の散歩コースくらい、身近な近所付き合いのできる範囲を対象に、徒歩圏のおつきあい、ネットワークを大切にしたいという思いをこめ、地域に根差した活動を行っています。

●まちづくり事業●  
地域の町内会、商工会との交流、地域交流イベント、自由参加の夕食会開催



●子育て支援事業●  
子育てサロン(こころひろば)、リトミック教室



●障がい者支援事業●  
障がい当事者グループ「お知り協会」支援事業



## 社会福祉法人あむの障がい福祉事業

障がいが理由になった『しかたない』をひとつでも減らしたい

- びーと：生活介護事業、日中通って仕事や活動
- ばでい：居宅介護事業、自宅や外出先で様々な手伝い、ヘルパー
- に・こ・ぱ：児童発達支援・放課後等デイサービス、  
就学前・就学後の子どもたちへの療育、家族への助言
- に・こ・ぱ2：児童発達支援、就学前の子どもたちへの療育、家族への助言
- こまち：共同生活援助、マンションを借りて数人での暮らし、  
グループホーム
- ふらっぷ：短期入所事業、自宅に近い場所で宿泊
- 相談室にと：指定相談支援事業、プランづくりのお手伝い
- 相談室ぽぽ：札幌市委託相談支援事業、よろず相談
- ワン・オール：札幌市基幹相談支援センター、相談機関等の後方支援
- 地域ぬくもりサポート：制度でできないことを助け合い、1回500円

2021 あむ（大久保）

## 領域や専門ごと だけの支援の拡大、強化の危険性

- 領域ごとに生きることが当然とってしまう 利用者 の生産
- 領域ごとに支援することを当然とする 支援者 の生産
- 住民の前から支援を受ける人が喪失 → 住民力 の減少、劣化
- 結果、いくら「共生社会」を叫ぼうとも、その道は遠くなっていく

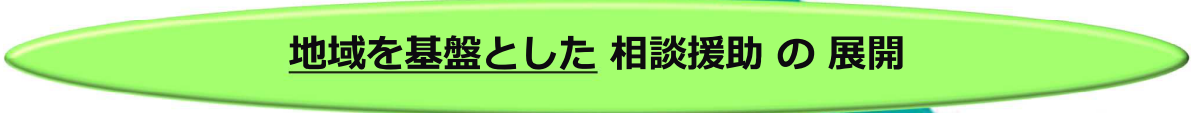


**福祉、医療、教育等が領域や専門を越えて活動**

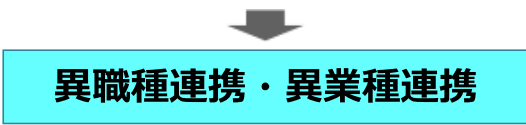
2021 あむ（大久保）

# 専門機関や専門家は どうやって 領域や専門 を越えるのか？

① 「関係機関」同士の連携によって、自分の領域を越えて活動



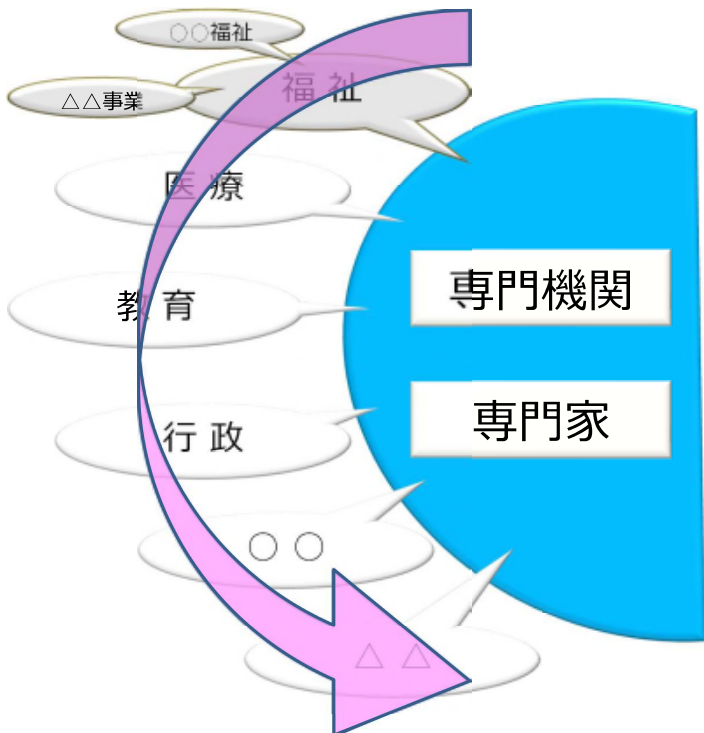
② 関係機関同士の連携 + 「非関係機関」との連携によって領域を越えて活動



③ 地域に暮らす人々のつながりとともに領域を越えていく、地域に貢献していく



# 専門機関・専門職が地域で力を発揮する ふたつの側面



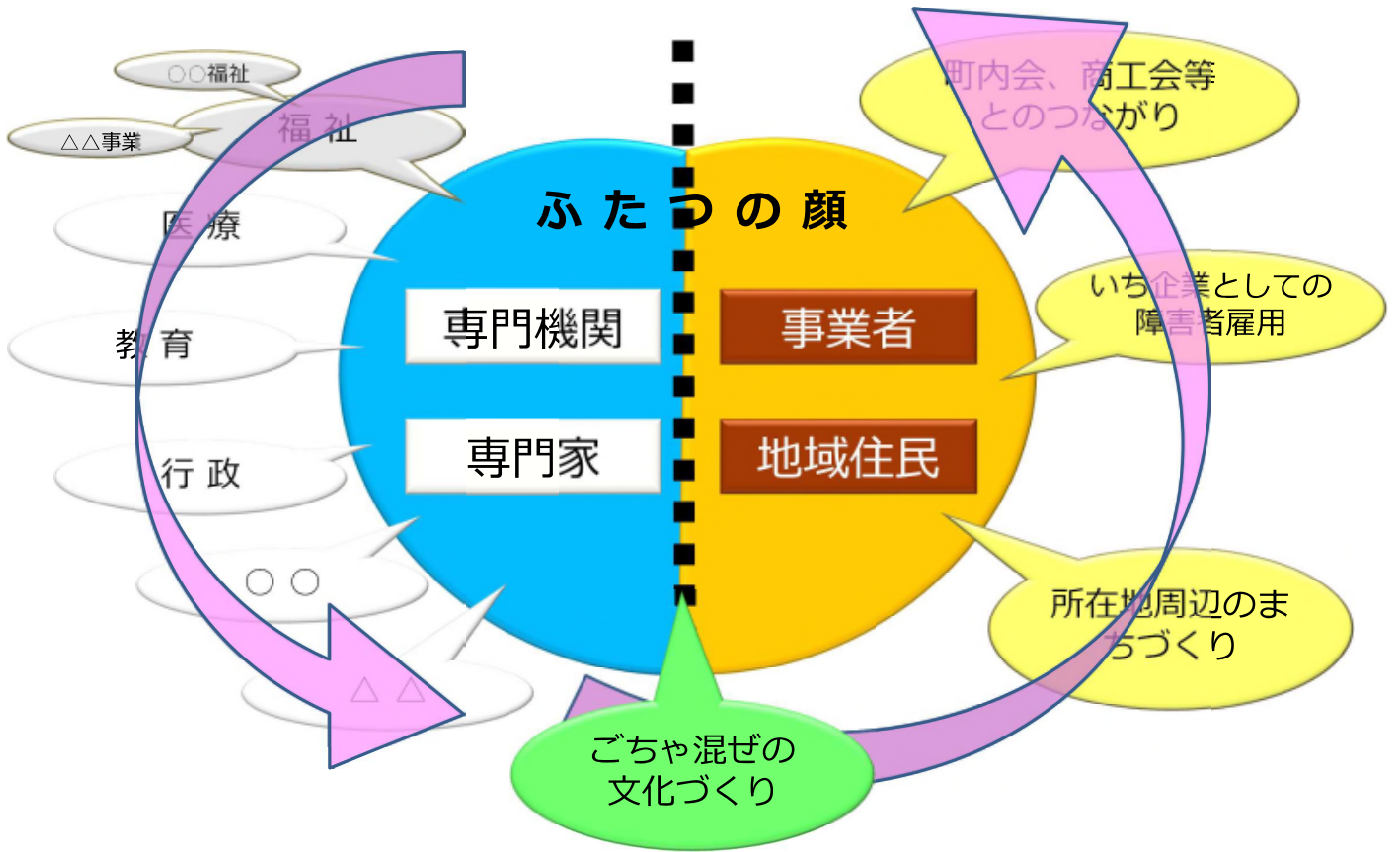
地域の中で  
専門機関 **だけ**が  
支える



地域の中で  
専門機関 **も**  
支える

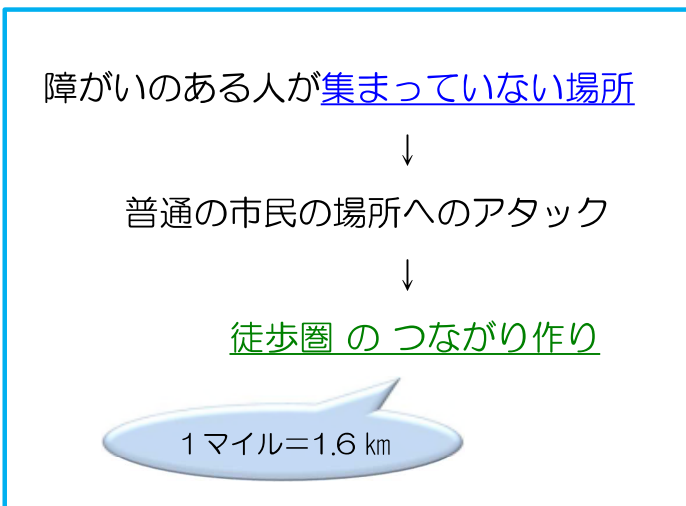


# 専門機関・専門職が地域で力を発揮するふたつの側面



2021 あむ (大久保)

## < あむ > がこだわっている 「ワンマイル・ネット」のねらい



## ワンマイルネット事業

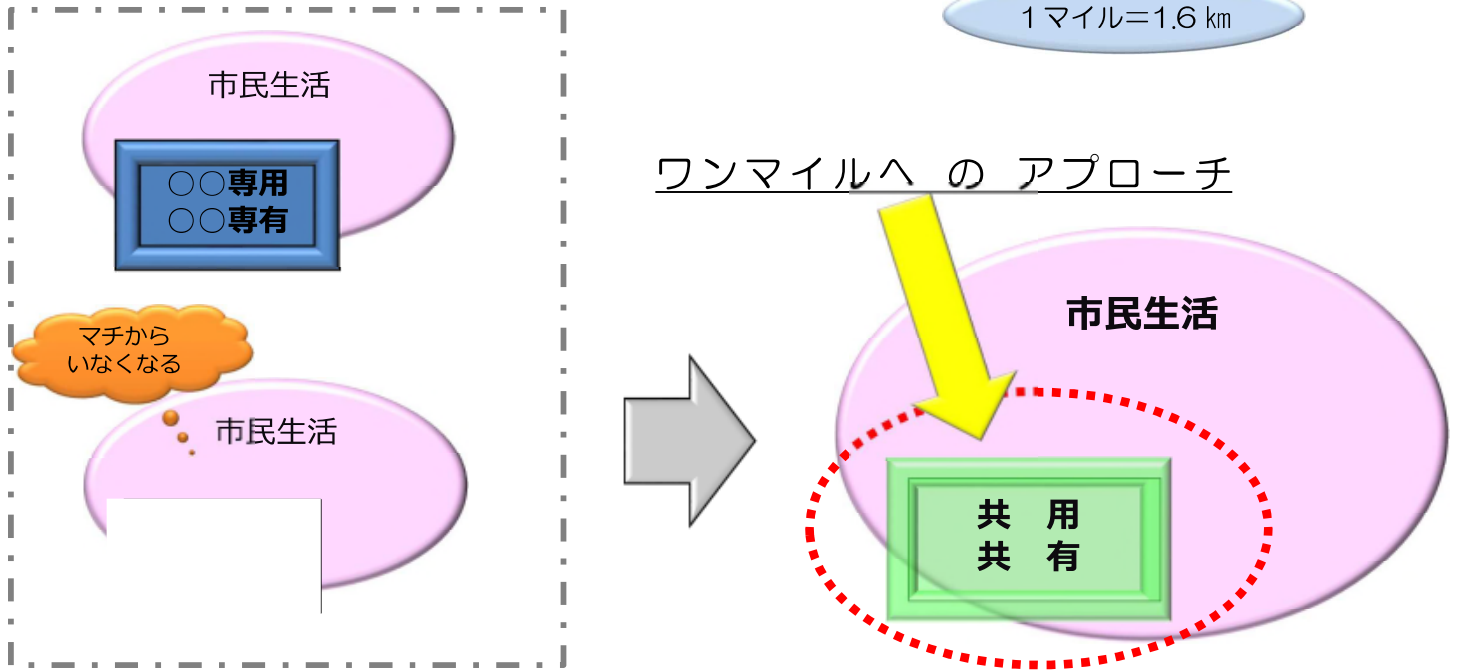
- まちづくり事業** ● 地域の町内会、商工会との交流、地域交流イベント、自由参加の夕食会開催
- 障がい者支援事業** ● 障がい当事者グループ「お知り協会」支援事業
- 子育て支援事業** ● 子育てサロン(ころころひろば)、リトミック教室

ワンマイル=1マイル=約1.6km。犬の散歩コースくらい、身近な近所付き合いのできる範囲を対象に、徒歩圏のおつきあい、ネットワークを大切にしたいという思いをこめ、地域に根差した活動を行っています。



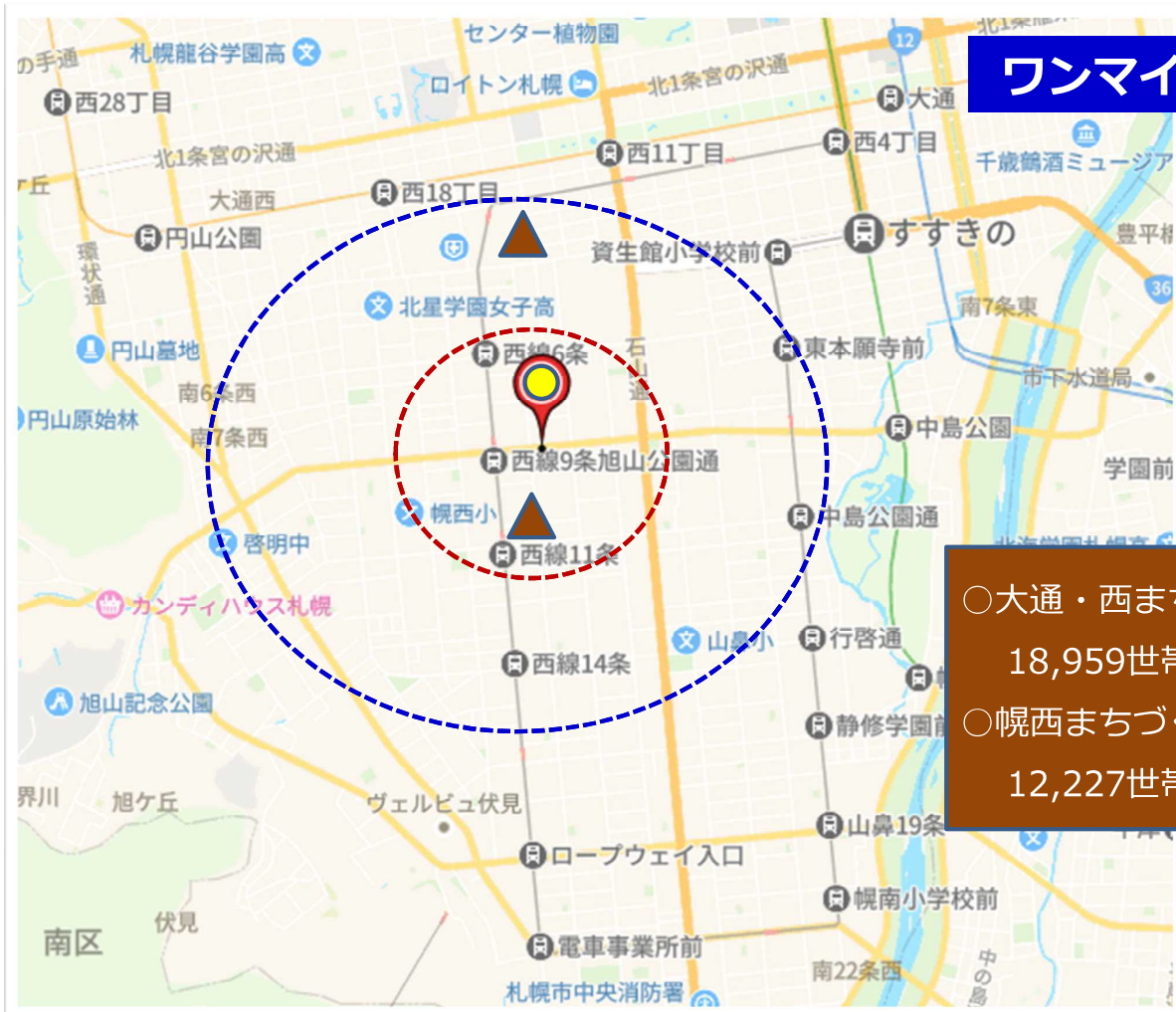
# 社会福祉法人あむの地域づくり～「ワンマイル・ネット」事業～

1マイル=1.6 km



障害のある人が集まっていない場所 → 普通の市民の場所へのアタック  
 → 徒歩圏のつながり作り

2021 あむ（大久保）



## ワンマイル・ネット

- 大通・西まちづくりセンター  
18,959世帯 25,598人
- 幌西まちづくりセンター  
12,227世帯 23,504人



### ばんごはん たべてけば

(2009年7月9日から)

- たただ一緒に晩ご飯食べましょう
- 毎月第2木曜日
- 17時頃から20時頃まで
- 予約不要
- 高校生以上300円 (中学生100円)



ごはんをつながる人と人  
 ことも、おとも、どなたでも...  
 みんなでいっしょに晩ごはん、食べませんか?



「ばんごはん食べてけば?」は地域の皆さんの出会いと交流の場です。  
 晩ごはんを食べながら、おしゃべりしたり、お友だちと遊んだり...どなたでも参加できます。  
 楽しいひとときをいっしょに過ごしませんか? 温かいご飯を用意してお待ちしています!

**会場** 社会福祉法人あむ  
 南9条通サポートセンター2階食堂  
 中央区南9条西13丁目1-40  
 (旭山公園通り沿、建物に向かって左側玄関よりお入りください)

**参加費** 300円 (小学生100円、小学生未満無料)

●予約、事前申込は不要です。席数、会場にお越しください。●子どもたちが遊ぶおもちゃを用意しています。お字さん連れでお気軽にご参加ください。●駐車場はありません。近隣の有料駐車場に停めるか、公共交通機関をご利用ください。●アレルギーへの対応はしていません。●食事内容にアレルギーのお持ちの方はできません。●喫煙者、飲酒後などの理由により、開催を中止することがあります。開催の場数は以下までお問い合わせください。●活動の様子をブログでご覧いただけます。『あむの会報』で観察してください。

お問い合わせ: 社会福祉法人あむ ☎111-206-6373 ✉onemile@amu.or.jp

私たち社会福祉法人あむは...  
 障がいのある人もない人も、大人子どもも、喜び合い、学び合い、暮らしにくくことのできる社会を築くことをめざし、さまざまな人たちの「出会い」からつながりを編み、「結び目」をつくることを通じて、「誰もが大切にされるまちづくり」に貢献することを目的として活動しています。

### ころころひろば

- 子育てサロン
- 毎週水曜日
- 10時から11時半まで
- 予約不要、無料
- 今は、5カ月～2才未満のお子さん
- あえて、障害児通所をしない時間をつくって





### リトミック

- ・ピアノの先生：〈あむ〉利用者ママさん
- ・毎月1回、年10回程度
- ・あけぼのアート&コミュニティセンター
- ・1回500円



2021 あむ (大久保)

### なんきゅう夏祭り (2007年から)

50年続いた地元商店街のお祭りがなくなって3年、  
2014年、あむ独自のお祭りを地域のお祭りに転換

- ・近所の公園で
- ・毎年7月の最終日曜日開催
- ・地域のみなさんによる実行委員会主催





GAP

### 夢の種を咲かす会

- ・2014年GAP札幌店長 世界No.1
- ・1万ドルを寄付できる権利
- ・「GAPとあむの木」(リンゴの木)
- ・10月みんなでリンゴ狩り～2018年



GAPとあむがつながれる日常的なこと探し

- ① GAPさんで「お仕事体験」
- ② 「GAPさん ボランティア依頼・情報シート」



**GAP&あむ コラボ企画  
夢の種を咲かす会**

日時 2014年6月5日(木) 18:00～21:00  
会場 第9集会所ポートセンター2階 食堂

次 第

17:30 受付開始  
18:00 開会  
オープニングトーク  
GAPの「おしゃれイatism」  
キヤノンマーケティング株式会社  
ノース・チャトリウチマキ・シーラー  
松本 弘史氏  
GAPのCEO 大久保 保  
19:00 寄付金贈呈式  
感謝状授与 松本氏  
19:20 夢の種を咲かす交流会  
グループに分かれ、夢を語りながら、1万ドルの  
寄付金の総額を競ってゴールを目指す。よう  
こそ！夢を語りながら夢を叶えます。

21:00 閉会

※お申し込みは「GAPとあむ」のホームページから。お申し込みは、  
お申し込み用紙に記入の上、お申し込みください。

おとなのプール活動で  
介助ボランティアなど



2021 あむ (大久保)

### こんにちは！お知り合い協会です

「ひとりぐらして、自由でいけど、休みの日はたいくつだなあ〜」  
「たまにはナベをしたいけれど、一人じゃつまらない」  
そんな思いをしたことはありませんか？  
「みんなが集まれば、何かが楽しいことがきっとできるはず！」  
それがお知り合い協会のほじまるきっかけでした。

「できないことがあっても、みんなといっしょならなんとかなるさ」の精神で、  
障がいのあるなかまが中心となってイベントや 交流会を企画しています。  
障がいがあっても、なくてもだれもが自由に参加できます。

障がいのあるなかまが集まって  
いつも楽しく活動しています



### 北海道おしりとおしりで お知り合い協会札幌支部

障がいのある当事者グループの活動  
のお手伝い



お問い合わせ・  
イベントなどのお知らせはこちらまで  
☎ 090 - 8373 - 7477



**ビアガーデン**  
夏のおついでに  
みんなでビアガーデン  
に行つて、楽しい  
ひとときをすご  
しました。

**ペンギんようかい  
勉強会**  
遊びばかりじゃな  
い！まじめな勉強  
会もしています。  
お金の使い方につ  
いて学びました。



**クリスマス会**  
12月にはクリスマス会を行いました。  
みんなでおいしいものを食べて、  
ゲームやプレゼント交換をしました。

**各地の当事者グループと交流中！**

石狩大地の会のみ  
んなといっしょに  
「お知り合い元気  
フェスタ」を開催  
しました！



留萌市で活動する  
障がいのある人たちの劇団  
(スマイル劇団)



## わいわい・サロン (2018年4月から)

2016年から開催していた「サロン 憩」を引き継いで…

- ・毎週火曜日 11時～14時
- ・300円 (軽食、飲み物付き)
- ・お弁当屋さんと共催で



## おしゃべり仲間を募集中!

男性、女性、年齢は問いません  
どなたでもお気軽に参加ください

## おしゃべりの部屋 わいわい・サロン

参加費300円 軽食と飲み物つき

囲碁、その他のゲームも楽しめます



南9条通サポートセンター  
中央区南9条西13丁目

\*9条通り北向き  
\*右側玄関よりお入りください

事前の申し込みは  
必要ありません

●会場MAP●



お問い合わせ

担当 / 沼田 080-4045-1907  
あむ法人事務局 011-206-6373

あじ太郎「生活応援団」 社会福祉法人あむ

## まじっチャおう (2008年11月から)

- ・元は、若いスタッフの「知り合いたい」から
- ・鍋っチャおう→焼肉っチャおう→「まじっチャおう」
- ・まずは、あむの近所のみなさん集まって!
- ・さらに、この1年知り合った人集まって!







1999年。

札幌市中央区南9条西13丁目界隈で仕事を始めました。

それから20年。

最初は、西屯田通商工会のお祭りの手伝い、幌西町内会の花植の手伝いから始まりました。



はじめは、名前では呼ばれませんでした。

それが、少しすると「あむさん」と法人の名前で呼ばれるようになりました。



少しずつ、自分たちから地域の方々に来ていただけるような取り組みを進めるうちに、町内会や商工会の方から「この前、Mくんに世話になってさあ」とスタッフを名前で呼んでいただけるようになりました。

2021 あむ 大久保



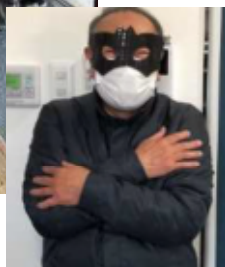
ワンマイル・ネットの取り組みから学んだことは「距離」と「断絶」、そして「地道」の大切さです。

「距離」や「断絶」は、障がいのある方やその関係者とそれ以外の方との間にあるだけでなく、同じ地域で暮らしている方同士、さらに地域のことを良く考えている町内会や商工会など組織の役員の方々にも存在していました。少なくとも私たちの周りでは「共生社会」の実現が、生やさしいものではないと感じています。

しかし、続けていると地域のみなさんとの間に自然に、偶発的にいろいろな素敵なことが起こります。続けてきて良かったと思います。

「地道」にやり続けることを学んでいます。

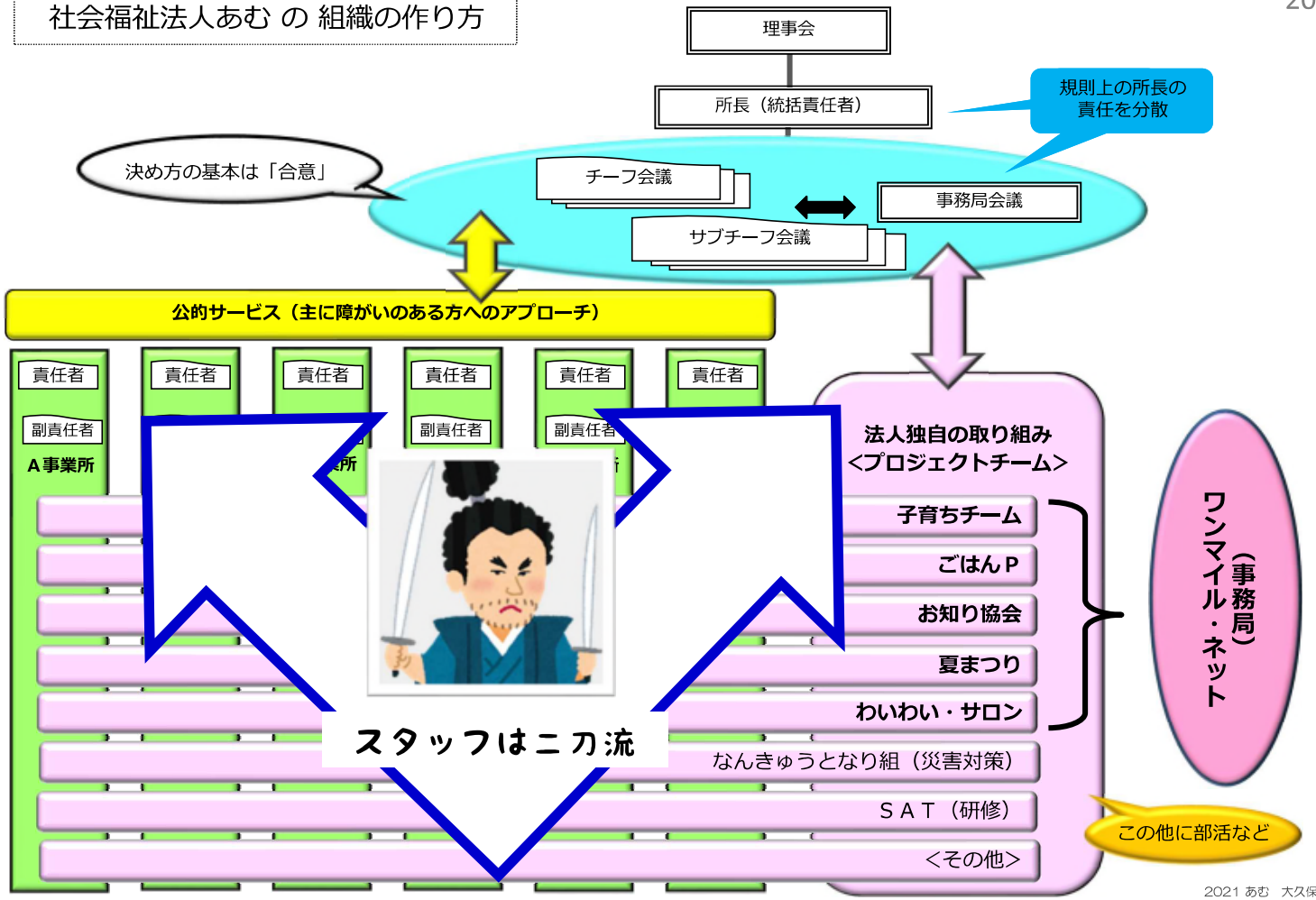
2019年8月 夏祭り打ち上げ（町内会長、商工会役員）



2020年10月 ハロウィーン（近所の質屋さん、町内会長）

2021 あむ 大久保

社会福祉法人あむの組織の作り方



ありがとうございました。



ホームページ、ブログ も ご覧ください。

社会福祉法人あむ

◇URL :<http://www.amu.or.jp/>

◇blog:<http://blog.canpan.info/amu0913/>